南九州市役所 新庁舎完成
新庁舎から、市民に開かれた議会を目指して



南九州市議会だより

ひまわり

vol.76
令和8年11月5日

議会だよりの愛称を市の花である「ひまわり」にして、地域の特産品でロゴを作成しました。

【目　次】

令和８年度９月補正予算…… P2
審議結果…… P4
主な議案等の内容…… P5
所管事務調査…… P6
一般質問…… P7
高校生議会・編集後記…… P10

議会を傍聴してみませんか!?

手続き簡単!新庁舎3階で“住所・氏名”を書くだけ
ライブ中継は市ホームページまたは各支所ロビーでご覧いただけます。

次の議会は

12月1日(火)

開会予定

12月　1日	本会議(開会)	補正予算等質疑、委員会付託
12月　3日	常任委員会	補正予算等審査(総務・文教厚生)
12月　4日	常任委員会	補正予算等審査(産業建設)
12月　8日 ～10日	本会議	一般質問
12月 18日	本会議(閉会)	補正予算等採決

議会の録画中継

スマホで確認！

市ホームページよりスマホ・パソコンで視聴できます。※ただし、議会当日の 7日後くらいからの配信となります。

令和８年第４回南九州市議会定例会

会　期	19日間	議　案	12件	承　認	３件
開会日	８月24日	発　委	１件	報　告	３件
閉会日	９月11日	発　議	１件	陳　情	１件
一般質問	11名	諮　問	１件	選　挙	１件

令和8年度９月補正予算

一般会計補正額　　2億3,478万円
補正後予算総額　259億1,458万円

総務常任委員会審査分

消防費
空家等対策事業費　600万円

空家所有者等からの相談数が増加し、空家等適正管理支援事業費補助金の不足が見込まれることから増額するもの。

～委員から～

Q 現在の申請状況と増加した要因は。

A 申請済みが44件、申請待ちが４件、相談中・見積中が３件あることから、既に想定した50件を超えている。また、増加した要因は、申請を簡素化したことが一因と思われる。



災害対策費（一般経費）　52万円

防災行政無線戸別受信機の製造中止が予定されていることに伴い、今後の有線施設の無線化や故障に備えた受信機の購入に要する経費。

～委員から～

Q 製造中止による機器更新の影響は。

A 今回の受信機は戸別受信機とは異なる特殊な機器で、防災無線の有線方式による屋外局の拡声器を無線化する際に使用するものである。
現在も有線方式で運用している５～６箇所について、今後無線化できるよう先行して機器を購入するものである。





防災行政無線戸別受信機

文教厚生常任委員会審査分

民生費
子育て世帯応援デジタル商品券給付事業費　2167万円

物価高騰の影響を受けている子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、市内消費の喚起及びキャッシュレス決済の普及による地域経済の活性化を目的に、Ｐａｙどんによるデジタル商品券給付に要する経費。

～委員から～

Q 従来の紙方式と比較した場合の効果は。

A 印刷、郵送、引換え、精算、回収、換金などの事務フローと、人件費の大幅な削減が見込まれる。

対 象 者…令和８年 10 月１日時点で本市に住所のある
　　18 歳までのお子さまがいる世帯
給 付 額…18 歳までのお子さま１人当たり 5,400 円
交換期間…11 月１日～令和９年１月 31 日
使用期間…11 月１日～令和９年２月 28 日

Payどんダウンロード

iphone ユーザー　　Android ユーザー

Payどん

衛生費
検診事業費
55万円

がん患者ウィッグ等購入費助成金の申請増加に伴い、不足見込額を増額するもの。

～委員から～

Q 増額の理由は。

A 助成金制度の周知が進んだことにより、申請件数が増加した。

教育費
中学校施設管理費
151万円

閉校した小学校のエアコンを知覧中学校職員室へ移設するために要する経費。

～委員から～

Q 新設した場合と経費の比較をしたか。

A 新設ではI000万円近くかかる見積だったため、閉校した清水小学校と松ヶ浦小学校から移設することで大幅に経費を削減できた。



移設前のエアコンの様子

産業建設常任委員会審査分

農林水産業費
担い手育成対策事業費
400万円

農村型地域運営組織形成推進事業の採択見込みに伴う経費。

～委員から～

Q 対象地区や事業の詳細は。

A 川辺地域の高田地区公民館が3年間にわたり取組む予定。地域の将来ビジョンや農地マップの作成、名所の保全整備や情報発信などの地域資源を活用した取組、軽トラ市の常設化に向けた話し合い等を行う。



高田地区の軽トラ市

商工費
寺師邸活用事業費
131万円

武家屋敷通りからの景観に配慮した電柱移設箇所変更に伴い、必要経費を計上するもの。

～委員から～

Q 追加電柱移設について詳細は。

A 雑木の伐採や剪定を行ったところ、武家屋敷ニッ家前から建築中の寺師邸を望む眺望ラインに電柱が露出する状況が確認され、移設が必要となった。

補正予算専決承認分

教育費
給食センター管理運営費（一般経費）
527万円

全自動業務用洗濯乾燥機の経年劣化による故障に伴い、必要経費を計上するもの。



給食センターの洗濯機

総務費
熊本地震災害支援事業費
871万円

令和8年熊本地震の災害復旧支援に係る職員の派遣に要する経費。



被災家屋調査中の市職員

民生費
災害救助対策事業費
124万円

令和8年熊本地震により、被災された方の生活の安定と、速やかな復興に寄与するための支援に要する経費。

全会一致の審議結果

件　　名	議決結果
専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算第３号）	承　認
専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算第４号）	承　認
専決処分の承認を求めることについて（水道事業会計補正予算第２号）	承　認
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適　任
知覧特攻平和会館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 56 号　知覧特攻平和会館条例の一部を改正する条例の制定についてに対する附帯決議	原案可決
ミュージアム知覧条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
南九州市子ども医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
南九州市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決

件　　名	議決結果
南九州市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
南九州市給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
令和８年度南九州市一般会計補正予算（第５号）	原案可決
令和８年度南九州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決
令和８年度南九州市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決
令和８年度南九州市水道事業会計補正予算（第３号）	原案可決
令和８年度南九州市農業集落排水事業会計補正予算（第２号）	原案可決
南九州市川辺清掃センター解体工事請負変更契約の締結について	可　決

賛否のあった議案等の審議結果

上程議案・結果（賛成：○　反対：●）	議決結果	しい千恵	角貞己	村方直己	西山英一	上赤秀人	取違博文	日置友幸	大倉野忠浩	川畑実道	鮫島信行	内園知恵子	蔵元慎一	山下つきみ	菊永忠行	吉永賢三	今吉賢二	米満孝二	加治佐民生
介護保険制度の充実と持続可能な制度構築を求める意見書の提出を求める陳情書	採　択	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	―
介護保険制度の充実と持続可能な制度構築を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	―

※議事進行を行う加治佐議長は賛否同数の場合のみ「議長採決」として賛否表明

主な議案等の内容

発　議

発議第４号　　**結果　原案可決**

議案 56 号　知覧特攻平和会館条例の一部を改正する条例の制定についてに対する附帯決議

概　要　知覧特攻平和会館の永続的かつ安定的な施設の運営を図るため、社会情勢や物価の状況を踏まえ、観覧料を含めた施設の運営に係る部分を定期的に検証すること

提出者　西山　英一
賛成者　角　　貞己、蔵元　慎一

【賛成討論】
・館内展示物以外の収蔵品も展示できるように付加価値を高めた建て替えや改築を目的とした料金値上げの検討が今後も必要と考えられる。



条　例

議案第 56 号　　**結果　原案可決**

知覧特攻平和会館条例の一部を改正する条例の制定について

知覧特攻平和会館の観覧料金及び音声ガイドシステム使用料金の改定並びにかごしま水族館との共通券を廃止するもの

令和９年４月１日以降の料金一覧表

	区分	大人（高校生以上）	小人（小・中学生）
観覧料	個人（1 人につき）	800 円	400 円
	団体（30 人以上団体及び教育旅行 1 人につき）	600 円	300 円
	ミュージアム知覧との共通観覧券（1 人につき）	1,000 円（知覧特攻平和会館分 670 円・ミュージアム知覧分 330 円）	500 円（知覧特攻平和会館分 330 円・ミュージアム知覧分 170 円）
使用料	音声ガイドシステム（1 台につき）	500 円	

【賛成討論】
・長期的な維持管理に資するものとして毎年１億円の積立をする計画に賛成。施設の永続的維持に必要な措置である。状況に応じた定期的な料金見直しの検討が必要である。
・平成８年より 30 年間据え置きされた料金改定は必要である。高付加価値の創造や入場者数が増加する施策に期待する。
・平成 20 年は来館者が 60 万人を超えたが、平成 27 年は 35 万人、令和２年は 14 万人、令和３年は 17 万人と激減し、会館の管理運営は危機的状態に直面した。今後の施設整備や長寿命化を見据えた改定だと確信している。

陳　情

陳情第４号　　**結果　採択**

介護保険制度の充実と持続可能な制度構築を求める意見書の提出を求める陳情書

陳情者　鹿児島県生活協同組合連合会　扶川　フミ子
同専務理事　　東垂水　末義

【賛成討論】

・介護が必要となったときに、少額な費用で介護サービスが受けられるよう社会全体で支える公的な制度として作られたことから、必要な人に必要なサービスが届くためにも採択すべきである。

発　委

発委第４号　　**結果　原案可決**

介護保険制度の充実と持続可能な制度構築を求める意見書の提出について

提出者　文教厚生常任委員会

諮　問

諮問第２号　　**結果　適任**

人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

沢津橋　美恵子 氏（川辺町平山）
任期：令和９年１月１日～令和11年12月31日

条　例

議案第 57 号　　**結果　原案可決**

ミュージアム知覧条例の一部を改正する条例の制定について

ミュージアム知覧観覧料金を改定するもの

令和９年４月１日以降の料金一覧表

区分		個人（１人１回につき）	団体（30人以上）（１人１回につき）
常設展示	大人（高校生以上）	400円	350円
	小人（小・中学生）	200円	180円
知覧特攻平和会館との共通観覧券	大人（高校生以上）	1,000円（ミュージアム知覧分330円・知覧特攻平和会館分670円）	
	小人（小・中学生）	500円（ミュージアム知覧分170円・知覧特攻平和会館分330円）	

議案第 61 号　　**結果　原案可決**

南九州市給水条例の一部を改正する条例の制定について

人口減少による料金収入の減少に加え、水道施設の老朽化や物価高騰に対応し、将来にわたり安定した水道事業の運営を図るため、水道料金を改定するもの

令和９年４月１日以降の基本料金（１月につき）

メーターの口径	13mm	20mm	25mm	30mm
料金	800円	1,150円	1,550円	1,950円
メーターの口径	40mm	50mm	75mm	100mm
料金	4,000円	6,000円	15,500円	25,100円

従量料金（１月につき）

区分	使用水量	料金
一般用	10㎥までの分 1㎥につき	80円
	10㎥を超え20㎥までの分 1㎥につき	125円
	20㎥を超える分 1㎥につき	160円
公衆浴場用	1㎥につき	125円
臨時用	1㎥につき	170円

「附帯決議」っちないな？

附帯決議っちゅうとは、議案を通すときに議会が「こげなこっちゃ、ちゃーんと気いつけて、よかごっせんか！」と市長らに念押しするようなもんじゃっど。

法律んごわ強制力はなかば、シレーっしおっと議会の目がキラッと光ったっど。



議会いっかすっで兄さん

所管事務調査（報告・提言）



７月２日　熊本県宇土市役所



７月３日　福岡県中間市役所



７月６日　熊本県宇城市役所



７月７日　鹿児島県出水市役所



７月9日　福岡県八女市　八女伝統工芸館



７月10日　熊本県八代市役所　FamLab８

総務常任委員会　「防災体制及び災害時初動体制の在り方」

鮫島　信行（委員長）、上赤　秀人（副委員長）、西山　英一、日置　友幸、
蔵元　慎一、加治佐　民生

①大規模災害が発生した際、各職員が自身の役割を理解し、迅速かつ的確に行動できるよう、事前通知を行わない抜き打ちの初動参集訓練など、実際の災害発生を想定した実践的な訓練を実施すること。
　また、訓練を通じて明らかとなった課題を踏まえ、地域防災計画や職員初動マニュアル、組織体制を継続的に見直すとともに、その内容を職員に周知し、災害時の初動対応力の向上を図ること。
②防災に係る業務は、市民の生命、財産を守るための基幹的な行政分野であり、高い専門性と即応性が求められることから、組織再編を検討する場合においては、既存の定員適正化計画や組織機構再編計画に基づく、組織のスリム化・効率化を前提とした統合を一律に進めるのではなく、防災対応力の維持、向上という視点を最優先に、本市にとって最も適した組織体制を構築すること。
③災害発生時の指揮命令においては、高度な専門知識、現場経験及び関係機関との調整能力が求められることから、災害対策専門官や危機管理監などの専門的な役割を担うポストについて、課長級または係長級での配置を検討するとともに、組織として専門的な知識や経験を蓄積できる人材育成及び計画的な配置体制を構築すること。
④指定避難所である小中学校屋内運動場の空調設備については、災害時の避難生活における熱中症死亡事例も発生しており、避難者の生命や健康を守るために重要な設備であるとともに、平時においては児童生徒の教育環境の向上にも寄与するものであることから、多額の財政負担が伴うことや学校再編などを考慮する必要があることは理解するものの、国においても整備を推進し、財政支援や有利な地方債が時限的に措置されていることを踏まえ、計画的な整備を進めること。

文教厚生常任委員会　「病児保育」

山下　つきみ（委員長）、村方　直己（副委員長）、角　貞己、川畑　実道、
内園　知恵子、米満　孝二

①医療機関主体の病児保育体制、病後児型、体調不良児対応型、訪問型を整備し診察から預かりまでをワンストップで行える体制を整え、子どもの安全確保と保護者の安心感の向上に寄与し、病児保育の質の向上を図ること。
②自治体の枠を越えた広域連携体制を構築し、利用者が居住地にかかわらず必要なサービスを受けられるよう、近隣自治体との相互利用や費用負担、情報共有の仕組みづくりを進めること。
③病児保育を移住、定住を支える子育て政策として位置付け、子育て世代が安心して働いて暮らせる環境を整え、病児保育を福祉施策にとどめることなく、本市の将来を見据えた重要な子育て支援策として推進していくこと。

産業建設常任委員会　「農業体験型観光」

吉永　賢三（委員長）、しい　千恵（副委員長）、取違　博文、大倉野　忠浩、
菊永　忠行、今吉　賢二

①専門的な知見を有するアドバイザーやコーディネーター、旅行業務に必要な資格や専門知識を有する人材を配置又は活用し、観光商品の造成、体験商品の企画･販売、予約受付、移動手段の調整及び事業者支援を一体的に行う体制を構築し、意欲ある事業者に対して構想段階から商品化・自走化までの伴走支援を行うこと。
②国・県の補助制度等を積極的に活用し、知覧茶、農畜産物、川辺仏壇等の地域資源を生かした体験コンテンツの創出を支援するとともに、主要観光施設周辺、空き店舗、既存施設、歴史的建造物等を活用した体験環境の整備を図ること。
③ DMO を核として、農業、茶業、畜産業、商工業、観光業、宿泊業、交通事業者及び地域団体等が参画する横断的な協議体を設置し、情報共有、商品造成、活動の評価･改善を行うとともに動画・ＳＮＳ等を活用した市内外への情報発信を強化すること。

市民の声を行政に問う 一般質問 Q&A

9月議会 /11人が登壇（名前の記載は登壇順）



9月2日（水）

1:	上赤　秀人	①市内3高等学校の存続 ②市営住宅
2:	しい　千恵	①防災・防衛体制の充実 ②学生のまちづくり参加
3:	川畑　実道	①議場での教育長の座席 ②防災センターの整備 ③避難道路の整備
4:	日置　友幸	①児童生徒の多様な居場所確保 ②上水道の計画的更新 ③市内3中学校の屋内運動場空調整備及び断熱化改修 ④公共施設適正配置計画の現状と今後
5:	吉永　賢三	①高齢者福祉 ②小・中通学用スクールバス

9月3日（木）

6:	内園知恵子	①平和行政と市長の政治姿勢 ②高齢者の熱中症対策 ③ナフサ不足・価格高騰の市内業者への影響 ④高齢者の補聴器購入費助成
7:	大倉野忠浩	①河川の抜本的な改修
8:	角　貞己	①ジャンボタニシ被害防止に向けた薬剤購入補助制度の導入 ②職員異動周期と事務事業の検証・見直し体制
9:	米満　孝二	①都市公園施設の管理及び利用 ②えい別府温泉センターの整備

9月4日（金）

10:	取違　博文	①防災対策
11:	村方　直己	①令和8年熊本地震による影響 ②市営観光施設の持続的運営

- 議会会議録は地区公民館・市立図書館・南九州市ホームページから見ることができます！
- 動画視聴のための QR コードを掲載しています。スマートフォンなどでご覧いただけます！

スマホで確認！



Q 市内3高等学校存続への対策は



上赤　秀人

A 県や学校、地域と連携しながら可能な支援を検討する

Q 昨年度の出生数と市内中学3年生の市内公立高校への進学希望状況は。

A 昨年度の新生児は100人である。令和9年4月入学希望者率は現段階で26％となっている。

Q 生徒数減少の要因は。

A 少子化や、私立高校の授業料無償化、スクールバス送迎など選択肢の広がりが考えられる。

Q 工業系の実習室には冷房施設がなく、35℃を超えるような中で授業が行われている。実習室への空調設備整備へ支援は出来ないか。

A 進学先として選択されるには、教育環境の充実も重要だと認識している。支援が可能か検討していく。

■ 『出来ない理由を探すのではなく、出来る方法を考え出すことが、未来にとって重要と考える』

出生数（人）

年度	R5	R6	R7
頴娃	29	22	21
知覧	48	48	39
川辺	52	52	40
全体	129	122	100



Q 防災センターの整備は



川畑　実道

A 災害発生時に迅速かつ的確な対応が可能となる防災拠点機能の強化が重要である

Q 新庁舎は、防災センターとしてどのような役割を担うのか。

A 平時の行政サービスの拠点であるとともに、災害時においても行政機能を継続できるよう、耐震性の確保や非常時の電源確保など事業継続に必要な機能を備えており、防災センターとして十分な役割を果たすものである。

Q 今後の展望は。

A 地域防災計画に基づき、防災関係機関や地域の皆様との連携を図りながら、災害に強いまちづくりを推進する。



Q 学生がまちづくり参加できる仕組みを導入する考えは



しい　千恵

A 若い世代の意見交換の機会を設け、協働して進めるまちづくりに取組む

Q 「高校生議会」の取組みや発想から、今後のまちづくりの企画や会議に学生参加を導入する考えは。

A 将来を担う若い世代の意見を市政に取り入れることは、貴重な意見である。多様な手法を活用し、若い世代の意見も反映されたまちづくりにより、本市で暮らす魅力を感じ、将来的な安定や地域を支える人材の育成に繋がることも期待している。

Q 商店街の活性化に繋げるために、チャレンジショップや起業に繋がる行政支援はないか。

A 「商店街課題解決等事業補助金」により支援している。イベントや商店街の催しなどに合わせて、期間限定で販売や事業体験を行う方法であれば、取組みをスムーズに始められる可能性もある。



Q 小中学校スクールバスの運用を見直す考えは



吉永　賢三

A 今後もこれまでの基準で運用していく

Q 通学距離や安全面などの配慮が必要な地域の保護者から相談があるが対応策は。

A 「南九州市スクールバス運行規程」に基づき運用しており、けが、病気等により通学困難な場合は、バスの利用を認めて対応している。

Q 中山間地でスクールバスの対応ができない地域の対策は。

A 遠距離児童通学費補助金制度で対応している。

Q 保護者の中には、仕事等で送迎が厳しい時もあり、補助金よりバスでの対応を求める声もある。児童生徒の健康や安全面への配慮が重要であることから運行規程を見直す考えは。

A 今後もこれまでの基準で運用していく。



スクールバス

Q 市内3中学校の体育館に空調設備と断熱化改修を



日置　友幸

A できるだけ早い時期に、前向きに進めたい

Q 全国的に体育館の空調整備が課題となって久しい。県内他市や近隣市からも導入の情報が寄せられている。導入が遅れ、本市に住んでいるからといって、生徒や避難者の方が暑さに苦しむようなことがあってはならない。決断の時だと思うが、市長の考えは。

A 多額の予算が必要であり、すぐにはできないと思っていたが、教育活動や避難所としての環境改善という面から、空調設備は必要だと思うし、この酷暑で生徒の健康被害があってはならない。

国の支援策も示されており担当課には、どのような整備が効率的なのか調査を指示し、できるだけ早い時期に、前向きに進めたい。



Q 大谷川の抜本的な改修の考えは



大倉野　忠浩

A 引き続き国や県に制度や予算確保について強く要望していく

Q 抜本的な改修に対する住民の要望が強い。改修に対する県との協議内容は。

A 防災・減災対策としてハード面、ソフト面からの対策を立て、実施状況のフォローアップを行っており、洪水氾濫対策の一環として寄り洲除去等を行っている。

Q 災害原因の分析と今後の計画は。

A 堤防護岸の崩壊、洗堀や堤防内に埋設されている排水管等の破損・不具合など複数の要因によるものと分析している。維持管理は原則、河川管理者が行うものであるが、提内地の排水機能に起因する場合は市で対応している。今後の対策として、防災工事等により被害軽減を図り、関係機関と連携し、必要な対策を進め、市民の安心安全の確保に努める。



大谷川 被災直後（上）復旧後の状況（下）

Q 平和行政と市長の政治姿勢は



内園　知恵子

A 戦争の悲惨さ、平和と命の尊さを次の世代に語り継ぐ

Q 平和を語り継ぐ都市宣言を掲げる本市の長として、非核三原則の堅持と核兵器禁止条約への日本政府の批准についてどう考えるか。

A 戦争の悲惨さ、平和と命の尊さを次の世代に語り継ぎ、核兵器のない平和な世界の実現を強く願っている。

非核三原則は、本市としても平和国家として重要な原則と認識している。また、核兵器禁止条約の理念は、本市の思いと同じで、その意義を重く受け止めている。

一方署名・批准については、国が判断されるものと考える。

Q 平和教育の取組みを次世代にどう継承するか。

A 戦争体験者が少なくなる中、戦争の悲惨さや平和の尊さを風化させることなく、次の世代へ確実に伝えていく責務がある。



Q 都市公園施設の管理及び利用は適正に行われているか

A 現在の利用状況を把握し、設置目的や、利用上のルールについて周知を図る



米満　孝二

Q 知覧平和公園自由広場の利用実態と今後の維持管理体制は。

A 都市公園法に基づく設置目的を踏まえ、平和公園全体の役割や周辺施設との調和を図りながら、適切な利用が図られることが重要である。利用上のルールについて周知を図り、適正な利用を促す。

Q 知覧平和公園旧ゲートボール場跡地は駐車場として利用されているが、整備する考えはないか。

A 都市公園整備に関する法令等に照らし合わせ、駐車区画や舗装など、事業費や財源等を考慮しながら、検討する。

Q 頴娃運動公園周回道路の駐車場からの進入について、改善する考えはないか。

A 安全を確保する必要から十分な検討を行い、利用者の快適な利用に努める。



知覧平和公園自由広場

Q ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）被害防止に向け薬剤購入補助制度を導入する考えは

A 他作物への支援との公平性、制度の在り方など十分な検討が必要である。他自治体の取組み等を含め調査研究していく



角　貞己

Q ジャンボタニシの実態把握は。

A 年度毎の発生状況については、把握していない。

Q 高齢農家は労力の限界では。

A タニシの除去・浅水管理等追加的な作業が増え負担となっている。

Q 新たな支援策の検討は。

A 浅水管理・取水口への防除ネット設置が重要であるので、周知体制の強化を検討している。

Q 被害の広域性等を踏まえると薬剤補助の支援策は妥当性があると考えるが。

A 補助については、担当課が検討していく。

Q 次年度の予算化や制度導入に向けた時期は。

A 令和9年度予算であれば11月までに他市の状況等を調査し、補助金の実施要綱を作成する必要がある。



ジャンボタニシの食害状況

Q 令和8年熊本地震の影響を受けている観光関連事業者への支援は

A 国や県の動向を踏まえ必要な対策を検討する



村方　直己

Q 本市観光の影響は。

A 客数減を確認した。

Q 観光見込客の蒸発に対し、今後の支援や誘客策は。

A 現時点では実施しないが状況を見ながら検討する。

Q 影響の調査対象は。

A 宿泊・主要観光施設を中心に調査した。

Q 交通事業者への調査の必要性は。

A さらに幅広い調査が必要だったと認識している。

Q 観光危機管理体制は。

A 現在はないが、今後検討する。

Q 有事の現状把握は商工観光課やＤＭＯの役割として期待してよいか。

A そのとおりである。

Q みなコレクーポンについて震災後の需要喚起策として継続拡充の考えは。

A 効果検証し、検討する。



Q 住宅の耐震補助制度を拡充する考えは

A 市民ニーズの動向を注視し必要に応じ見直しを検討する



取違　博文

Q 大規模地震では、住宅倒壊で人的被害の発生が懸念される。耐震化をさらに推進するため、耐震診断及び耐震改修への補助制度を拡充する考えはないか。

A 昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅に対し、国の補助制度を活用し、耐震診断で対象経費の3分の2（上限6万円）、耐震改修で対象経費の23％（上限30万円）補助だが、市民からの要望が無い。

令和8年の熊本地震では6割が圧死・窒息であったことが報道されている。国は耐震性の不十分な住宅を2035年までに「概ね解消する」との目標を掲げた。宮城県では、国・県・市町村が分担する形で100～135万円を上限に補助している。制度改定に向け努力してほしい。



防災訓練の様子

NEWS! 高校生議会　3高校の生徒が南九州市議会で躍動!!　15名が議場で一般質問!











「議長！」ピンと指先まで伸びる手と、響き渡る若い声。

8月24日、市内3高校に通う15名の高校生が議員として高校生議会に参加しました。

数回にわたる勉強会を経て迎えた本番の日、想像以上に落ち着いている高校生議員の姿に、議員も職員も目を見張るばかり。

ご家族や先生方が傍聴席で見守る中、手に汗握る鋭い質問と、熱のこもった答弁が、通常の議会さながらで素晴らしい盛り上がりを見せてくださいました。

終了後には、閉庁する知覧庁舎内を見学し、市長室や議長室で楽しそうに記念写真を撮っている高校生たちを見ながら、「いつかまた議場で再会できたら…」と願わずにはいられない一日となりました。若き高校生議員へ、これからも皆さんの挑戦を応援しています！

●頴娃高等学校
- すべての市民が参画できる地域づくり
- 若者が集い、交流できる環境づくりと全国チェーン飲食店等の企業誘致
- 学校給食

●薩南工業高等学校
- 若者が魅力を感じるまちづくり
- 県立高校の交流イベントの取組み
- 通学路等における防犯灯設置
- 知覧武家屋敷群を活用した体験型観光の推進

●川辺高等学校
- 高校生によるイベントの開催と抹茶のＰＲ
- 地域の魅力を発信するＳＮＳプロジェクト

編集後記

今や防災は、より身近な言葉となっています。国も今年11月には防災庁を設立し、防災対策に力を入れる計画です。

7月28日の熊本地震、能登半島地震、10年前の熊本地震、東日本大震災など近年震度7クラスの大地震が頻発しています。

我が南九州市は大きな地震災害も無く安心して住める地域ではありますが、いつ大きな地震が発生するかわかりません。東には南海トラフ、南には硫黄島近海のマグマだまり、西には甑・市来活断層など大地震が起こる可能性があります。

防災対策としては、事前防災が大事です。

まず、住居の耐震性の強化はもとより、家具の固定は確実にしっかりと。非常時持出用袋の準備、保存食の確保、簡易トイレなど必要ではないかと思います。

身近には高齢者や障がいのある方など、避難時に支援を必要とする方もいます。避難時や避難所での生活は皆さん一人ひとりの心遣いや手助けが必要です。地震が発生した時、お互い住民同士が助け合う共助が必要です。

みなさん　防災対策はどうしていますか。



鮫島　信行

広報編集委員会

委員長　大倉野　忠浩
副委員長　西山　英一
委員　しい　千恵
村方　直己
鮫島　信行
内園　知恵子

◎発行：鹿児島県南九州市議会
◎編集：議会広報編集委員会
◎発行責任者：加治佐　民生
TEL　〇九九三(八三)二五一一
FAX　〇九九三(八三)四六五八

議会だより
バックナンバー